

【教育活動の名称】 吹奏楽部 コンサートホール練習・練習成果発表会

【副題】 充実した音楽経験を通じた主体的で協同的な活動と音楽を愛好する心の育成

【学校名】 栗東市立栗東西中学校

1 本校の概要

「心豊かでたくましい生徒の育成」を教育目標とし、自分を大切にできる生徒、人を大切にできる生徒、目標を持ち、夢に向かって進む生徒が育つことをめざしています。学校スローガンは「好きです西中つながる学校」を掲げ、話せる仲間がいる、相談できる先生がいる、おうちの方や地域の方の支えられていると実感できる中学校をめざしています。

令和6年度は1年生9クラス、2年生8クラス、3年生10クラスの全校生徒884名が在籍しています。

栗東西中学校の二本柱として、生徒が中心となって自分たちで創り上げる行事「NBC 体育祭・音楽祭」、総合的な学習の時間で取り組む人権学習の「ヒューマンタイム」があります。様々な行事や人権学習の取り組みを通して、生徒の主体的で協同的な学びと差別をなくす生き方やすべての人が生きやすい社会の実現をめざして、人権を尊重できる生徒の育成を大切にしています。

2 取り組んだ内容

(1) ホール練習

吹奏楽コンクールと練習成果発表会に向けて栗東芸術文化会館さきらの大ホールと中ホールを借りて練習に取り組みました。

ホールの舞台を使用した練習では、本番の楽器の配置を考えたり、客席から自身の音の響きの確認を行ったり、コンサートホールでしか味わえない音響環境でサウンドづくりや音楽づくりに取り組みました。

(2) 練習成果発表会「サマーコンサート」

4月に入部した1年生を中心に、部員たちが主体的に選曲・企画・構成を行い、練習成果発表として栗東芸術文化会館さきらの中ホールを使用した「サマーコンサート」を8月22日に開催しました。コンサートでは、1、2年生の合同ステージだけではなく、学年別のステージを取り入れることで、全体の交流のみならず、学年間の交流の機会を充実させました。

保護者、教職員、地域の方々を中心に、100名を超えるお客様にご来場いただきました。

3 活動の成果

コンサートホールを使用しての練習は、充実した音響環境で、ホールの舞台上や客席でしか感じることのできない音の響きや音楽づくりを体感することができました。この貴重な経験により、部員たちは音楽の美しさや本質を探究する面白さを実感し、音楽を楽しみ愛好する心を育むことにつながり、滋賀県吹奏楽コンクールにおいて金賞を受賞することができました。

練習成果発表会では、1年生が企画の中心になりながら、2年生とともに出演しました。取り組みのスタート段階で、自分たちができるようになりたいこと、成長した姿のイメージ、お客様にどのように楽しんでもらいたいのか、喜んでもらいたいのかを具体的に考えて、個人とチームの目標を設定して練習を進めました。目標をしっかりと持つことで、成長した自分やチームの姿を振り返ることで、音楽の楽しみをより実感し、子どもたちの自己肯定感を向上させることができました。

また、コンサートを創り上げる過程で、プログラム作りや楽器運搬、リハーサルなど、音を奏でる以外に必要な準備や音楽やコンサートに関わる人たちの仕事にも触れることができたことで、部活動としての協同性やコミュニケーション能力を伸ばすことができただけでなく、進路への関心や社会性の育成にもつながりました。

コンサートホールを使用した練習や活動は、すべての団体が経験できるわけではない貴重な経験です。この経験は音楽文化の本質に近づき、生涯にわたって音楽を楽しみ、愛好する精神につながるきっかけとなる取り組みとなりました。

